議会だより第 63 号　モニターアンケート結果

■今号の内容や編集について（表紙・見出し・写真・紙面構成など）

・表紙の写真を見て、いかに今までの生活から変化を強いられているか実感しました。早く若い人たちにもワクチンがまわってくる事を祈ります。しばらく若者に来ないなら、その間に LINE 等を活用して予約システムの構築ができればいいのになと思いました。
・表紙の写真は接種した後、休んでいる場面でしょうか？ようやく自分の所にも接種券が届きました。医療関係者の方、気持ちが滅入るかもしれませんが、体に気を付けて、やりきってほしい。行政に携わる方、精一杯の御礼をしてください。
・表紙 　新型コロナワクチン接種会場の写真掲載は、町民の安心感を与えるタイムリーな良い写真だと感じます。自分が接種に行った際に気づいたことは、医師看護師以外にも、スムーズな接種を進めるために役場職員や臨時職員等要員の数が多かったことです。町民の中には、予約がとりずらいとか遅いとかの不満も多いと思いますが、その裏ではこれだけの準備が必要なことと感謝の気持ちが記事になっていたら良かったかと感じました。 ・内容 　３ページに「町債（借金）と基金（貯金）の推移」についての訂正記事がありました。表の左側にある「地方債（町債）現在高の状況」にある前年度決算見込みに比べて 7555 万円の増、というのは、今回の訂正で整合がとれたことになります。 　また昨年の第 58 号にも同様の記事があり、比較してみたところ、数字が一致しているのは平成 29 年度分までででした。今回の訂正のみならず、平成 30 年以降の整合性の解説があればより分かりやすいのではないかと感じます。一昨年だったか昨年だったかに特別会計と一般会計の中身が変更になった影響なのかなとは思いますが。町債にしろ基金にしろ財政については専門性の高い知識が必要かと思いますが、町議会議員各位の研鑽を望みます。 　最終頁に記事がある、広報クリニックを受けたとのこと。専門家や他者の意見を聞くということは大切かと思います。今後も年一度ぐらい評価をしてもらうことを続けていただきたく思います。
・表紙について 　まさに、現状のスナップで時宜をえているものです。緊張感と期待感が入り混じっている様子が座っておられる方々の背中から感じます。こんな状況が早くなくなるよう願っています。 ・見出しについて 　おおきめのドットで見やすくて良いと思います。 ・写真について 　情報紙として、全ての記事に対して的確なスナップです。視覚で状況が想像できます。特に 20 ページは、たった１ページなのに「議会だより」の編集の思いが感じられ大変好感のもてるページです。
・議会だよりはいらないという声があちこちから聞こえてきます。議会だよりは廃止したらどうですか。大昔から変わってないし、毎回これを出す（印刷代他で）お金はどのくらいかかっているのか。ムダ使いせず、考え直して下さい。県議会みたいにチラシサイズで両面でいいと思います。「こんにちは県議会です」わかりやすくて読みやすい。 ・必要なこと、町民に知らせたいこと、議論は質問と答えのみをまとめて書けばいい。すべてでなく大事なことだけ、議員の写真や一般質問を事細かに書かなくてもいいです。見たい人は

ホームページで見ればいい。議員の一般質問もどうでもいいのがあり、読んでて「えっこの人議員なの」って思います。今まで何をしてたのか、私たち町民が、見たい、読んで納得できるものでありたい。この議員が、何をしたとか、やったとかは、議員の自己満足だ。そうではなく、町民のために町をどのように良くしていったらいいか考え、議員一人一人が力を合わせ、人のために働いて下さい。議員として当たり前なのです。
・高齢者のワクチン接種の様子がわかりよかった。 ・今後のスムーズなワクチン接種に期待したい。 ・各議員の方々の提案がわかった。
・今号のみの話ではないのですが、「議会だより」の編集を全て６名の編集委員で行っているとの記事（P20）に驚きました。大変にご苦労様です。編集委員は企画会議のみで、作業は議会事務局スタッフが担っているのだと思っていました。そのご尽力に敬意を表します。ですがやはり、編集作業は専門スタッフに担わせ、編集委員は、アイデアの創出（企画）と最終的な調整（チェック）に専念してはいかがでしょう。 編集作業は専門的な知識・技術が必要ですし、ほぼ全てが細かい作業です。１名、専属の編集者を配置するべきではないでしょうか。 冊子全体のデザイン（記事の配置、文や写真構成、文字のデザイン、イラスト作成挿入、色構成などなど）も、情報デザインの経験者に担ってもらった方が良いと思います。「住民と議会の双方向性」を高めるためにも、「議会だより」全体の品質をさらに高めることは重要だと思います。そこに投資するだけの価値（費用対効果）は十分にあると思います。そうすることで、議員の負担を減らすことにもなり、読者である住民にとってさらに親しみやすい冊子になると思います。 以下、今号で気になった細かい点です。例えば、こういうことが専門の編集者によってクリアできると思います。ミスも減り、訂正記事もなくなると思います。 ①P2 の見出しにある「１億 9142 万円」、３段目の「令和３年度一般会計補正予算（第３号）」の「１億 652 万円」、P3 の「新型コロナウイルス感染症対応（一般会計補正予算第３号）の内容」の合計金額「１億 953 万円」の数字が異なるのはなぜ？ ②P2-3 は６月定例議会の関連記事ですので、P3 の下段には、前号の訂正記事ではなく、P4 の下段に掲載されている「賛否結果」を掲載する方がわかりやすいのではないか？ ③P16-17 の「あの時のあの質問どうなった？？」の余白が多すぎて読みにくくないか？ ④P16-19 の「あの時のあの質問どうなった？？」「モニターアンケートにお答えします」は、ベタ打ち感が強く読みづらいです。それを解消しもう少し読みやすくするにはどうすればよいか？
・定例会の「町長の給料を３か月減額」の案件は、町民にとって非常に遺憾な出来事であり、当該職員は勿論のこと、関係する役場職員各位にも猛省をしていただきたいと思います。普通、一般の民間企業ではおよそあり得ない事であり、飯綱町役場の体質まで疑いざるを得ない重大な案件であると改めて認識をしていただきたいと思います。
・表紙の写真は、今まさに進んでいるワクチン接種の写真で、時事ネタとしてはとても良いと思いました。 ・見出しは、わかりやすく、記事との関連がよく出ていると思います。 ・紙面構成において、「あの時のあの質問どうなった？？」のＱ＆Ａがあまりにもシンプルすぎる感じがします。もう少し詳しく書いて頂きたいです（スペースは十分あると思いますので）。例えば、①学校へのルーターの貸出しは台数だけでなく、いつ（何月から）実施されるか、など。②ｉバスのヘルパー乗車日を週１回から２回に拡大→曜日など、もっと詳しい情報が欲し

いです。
・表紙を見て、一番Ｈｏｔなワクチン接種の写真ではあるけど、中を開きたいと思うか、考えこんでしまった。例えば、毎回「人」でもいいのでは。子供に未来を一言（フキダシ）とか、期待や希望を感じて中を開こうと思わせる、そんな表紙をお願いします。 ・毎回盛り沢山の内容、わかりやすさを心掛けておられるのがよくわかります。ありがとうございます。１つ１つのトピックス、例えば質問でとりあげていることはよく知られていることであったり、ヤングケアラーのようになじみのない事柄であったりします。又、その問題の時流の中での背景もあるでしょう。それを一般質問では書ききれないと思いますので、テーマを絞って今号は「ヤングケアラーって？」「オーガニック給食って？」というように深堀するページがあってもいいのではと思いました。 ・例えば、議員さんの座談があって、今回の６月議会の最大のヤマ場はあそこだった、ここだったと流れを総括するようなページがあってもいいのでは、と思います。
・新型コロナウイルス対策のための補正予算が掲載されました。予期せぬことに多くの税金を投入されています。小さな町だからこそ顔の見える商店や宿泊施設。適切な援助がなされるようお願いします。 ・荒川議員の一般質問にある農業従事者数。60 歳以上が 86%。担い手不足が言われています。そのことは大事なことです。それを認めたうえで、発想の転換。飯綱町では高齢者となっても生きがいを持って働くことができる。実際、直売所に野菜や果物を出しているのはほとんどが高齢者でしょうか？生きがいを持っていつまでも働ける町。町の魅力だと思いました。
・議会だよりのモニターをやらせていただき４年の月日が経ち、毎回の表紙を楽しませていただきました。この表紙を拝見しているだけで、世の中の変化が垣間見れる様ですね。今回はなんとワクチン接種の表紙。ほのぼのとしたいつもの議会だよりとは打って変わっての表紙でした。現実なんですね、これが今の現状ですね。私たちには一体何が出来るのでしょうね。戦争を体験せずもその方々の父親は戦争を体験し、お国のためにと尊い命を落とし、又奇跡的にも助かり生還し、その歴史を語り継ぎ使命を果たして下さった方も、この私たちと共にこの時代を生き抜いて来たのですから。それを思うとこの国も世界も大きく変わり過ぎてしまったのだと思います。急速に進化、発展させてしまったこの地球を取り戻す知恵を今こそ使う時が来ているのだと感じています。発展と経済欲には人間の悪の力も働いてしまうと思いますが、それと引き換えにいただいた、異常気象、オゾン問題、産業廃棄物問題、新型ウイルス、ＳＮＳ自殺増加、他多数、まだまだいくらでも挙げられると思いますが。これらを解決するには純粋は心と未来を考える真の心と善の心のみが必要とされるのですから、表面的で偽善的では終息はないのだと思っています。
・モニターをやらせていただいておりますが、議会だよりを少人数でわかりやすく発行していただき、大変感謝しております。ありがとうございます。
・とっても見やすく、カット写真もわかりやすく写っていてよかったです。
・表紙、新型コロナウイルス早く収束してもらいたいものです。担当者、住民の大変さが伝わってきました。 ・補正予算はコロナ関連が多かったですが、財源は全て町単なのでしょうか？ ・過疎債、プラスにとらえうまく活用し将来の町の発展のために上手に活用していただきたい。 ・飯綱町にヤングケアラーはいるのでしょうか。
・町ではコロナ感染症対策に１億９千万円以上の多くの予算が使われていることをしりました。他市町村ではコロナワクチンが不足して接種が進まないという話もきいています。飯綱町でもワクチン接種が順調に進んで早く私たち世代と子供たち世代まで接種が完了することを希望し

ます。私の親は接種しましたが大きな副作用もなく良かったです。コロナ対策費が有効に使われ一日でも早くコロナが終息し、気軽に出かけられるようになりたいです。
・表紙はワクチン接種の様子が分かって良いです。写真も多く興味をそそります。全体的な紙面構成もすっきりしていて分かりやすいです。コロナ対策にかかる予算が分かって良かったです。
・今号をぼんやり見ていて気がついたのですが最終ページに表紙説明の小枠があるんですね。あれ？そうだっけかなと、前号、前々号を確認してみたらちゃんとありました。しかも読んだ記憶もあったりして。いけないいけない。もっと気をつけて読んでいかないと。
・表紙をカラーにするよりもイメージのために中の画像をカラーにした方が良いと思いました。 ・P5 の内容ですが題名と中身の内容が違うと思います。題名を今後の改善とかの方が適切だと思いました。 ・新型コロナウイルスについて、最初に触れているのはうれしかった。特に項目ごと、どれ位の予算を使うかが書かれていて見やすいと感じました。 ・P16 からのあの時のあの質問どうなった？？画像もあり見やすくなっていますが、文字の大きさを 0.5 でも大きくした方が良いように思いました。
・普段の生活の中では、町政についてあまり関わることなく、何がどう進んでいるかも考えることなく、日々過ごしていますが、議会だよりを拝読すると町の様子がよくわかり勉強になります。 ・コロナワクチン接種をまだ受けていない方達は、表紙の写真で接種会場の様子がわかり良かったように思います。 ・「マイナンバーカード交付フロー」がわかり易かった。 ・「飯綱町年齢別基幹的農業従事者数」の表は、高齢化している農業従事者の様子が一目瞭然で、りんごの町を目指す町として厳しい情況であることがわかり易かったです。 ・議会だより編集会議の様子がよくわかりました。毎回わかりやすい議会だよりになるようご苦労いただいていることに感謝します。お疲れ様です。
・一般質問に対しての町長の回答が一目でわかる紙面構成がたいへんわかりやすく、明確に表現されている。内容をさらに読もうとなる出来栄えと感じた。
・表紙について、コロナワクチン接種後の待機場所の風景、東京オリンピック終了後の現在新規感染者が急増し異常な事態になっている状況の中でこの風景写真は緊迫感が伝わって来ない。（発行日と内容に時期的なずれのせいかもしれない）
・有機給食への記事を読んで有機農業が飯綱町全体に広まっていったらとてもうれしいと思いました。昨今、日本では添加物や農薬が使われた食品がほとんどです。なかなか無添加や無農薬の食品を手に入れることは難しいです。できるだけ、からだには負担をかけるものはとりたくないものです。産地直売所でもたくさんの無添加食品やオーガニック野菜が購入できるとうれしいです。
・写真や表が見やすく良かったと思います。 ・表紙についてはコロナワクチン接種の様子がわかり良いと思った。 ・議会だよりの編集の様子がわかりどのように議会だよりが発行されているかがわかりました。
・見易く、内容も分かり易かったです。
・最終ページに「わかりやすいを心がけ議会だより編集会議」とありましたが、毎回ご苦労されて発行している事がよくわかりました。特に「あの時のあの質問どうなった？？」は写真もありとてもわかりやすくよかったと思います。
・表紙、時節にあった写真で良いと思う。

・他の町村の議員活動について、議員の出張又は町役場の出張により参考になるものがあれば教えて欲しい。
・コロナワクチン接種の表紙はこれから受ける者としては参考になります。
・表紙、ワクチン接種会場の様子はタイムリーでこれから接種の人にとっても有益な情報だと思います。 ・一般質問、じっくり読ませて頂きました。議員によって、町政全般を考えて質問している方もいれば、地元代表としての立場を優先している人もいて（利益誘導的な）興味深く読みました。 ・私の提言、町の保健室いいづながあるんですね。ちょっと不安な事を相談できる町の保健室があるのはとても良い事だと思います。
・内容について 　難しい言葉「ヤングケアラー」「パワリハ」については解説があり理解出来たが、他にも難しい言葉が多く、誰もがわかりやすい言葉を使っていただくと最後まで読む気になると思う。 　有機給食については興味深く、子供の健康は親の第一の願い。更に進めていって欲しいと願う。 ・写真について 　ワクチン接種の様子がわかりやくす、これから受ける方に安心を与えると思う。
・表紙の写真については、時期的に合っており良い写真だと思います。 ・見出しは、項目ごと、大きな見出し、色分けされており、文字間も広く大変見やすい紙面で読みやすいと思います。 ・構成も良く出来ていたと思います。 ・P4、飯綱町子育て世代支援施設オープンしたとの事、多くの若者が町に定住し、これから多くの利用が望まれる施設だと感じました。 ・P6、一般質問の中に旧三水、旧牟礼村の活字が見えたのに驚きました。合併して何年？私は当時合併１年前まで区長をやり、牟礼は区長制度、三水は伍長制度であったと記憶しています。合併の為のすり合わせの区長会に何回も出席しました。合併して飯綱町になったと思っていましたが、この度、旧三水村地区が過疎地域に指定された事は驚きました。 ・P7、踏み込んだ個別避難計画の作成、なるべく早く作成を。
・議会だよりの編集、ご苦労様です。多岐にわたる町政の課題について扱うわけですので、①関心のあるコロナ対策、②一般質問、について、やはり大切ですよね。その上に関わりやすいように、③私の提案、④あの質問どうなった？？、をとりあげて、とっつきやすい内容に配慮されていること。ありがたいと思っています。ご苦労様です。 　その上で提案です。 （１）一般質問をもっとしぼれませんか？もちろん色々と対応されていることはわかりますが、広く浅くという印象をうけます。内容を１～２個にしぼることで（質問内容は箇条書きにして、扱ったことを知らせればよいのでは？）うまれたスペースを、その質問が出されるデータの紹介にあてられたら、内容をより理解していただけるのではありませんか？ （２）努力されていることはわかりますが、P20 の「わかりやすい…」は当然のことだと思いますので、載せられた見識を考えてしまいます。
・表紙からもわかりますが今はコロナ対応が最も重要であり住民の関心も高いので議案についてもコロナ対応に関する予算がたくさん計上されています。コロナ感染を予防するための予算だけでなく、コロナによって売り上げが下がった業種への補助など多岐にわたり、効果がはっきり現れにくいものもあるので予算要求するにしても予算承認するにしても判断が難しいと思

います。しかしこのような対応がされ続けている事はとてもありがたいので個人事業主の私としても活用できるものは活用させてもらいたいと考えています。
・中盤には新過疎法についての一般質問もありました。過疎指定されたことは喜ばしいことではありませんが、新過疎法の対策事業で生かせる部分はないのでしょうか。なんにしても人口の減少をどう食い止めるか。今までも町や議会がずっと議論してきたことではありますが町から離れていった方の生の声は大事ですよね。それぞれ個人の事ですけれど離れた理由があるんですから。どうにかその声を聞ける施策を考え、そこからもっと個人に合わせた対応を取れればと考えます。

・新型コロナワクチン対策に多額の費用が投じられている事がわかった。
・ワクチン接種が進む中で、今後アフターコロナにどう対応していくかが重要。観光や消費が通常の何倍にもなって押し寄せると予想される中、無策で終えることの無いように町としても先手を打って良い提案や補助等を打ち出して欲しい。地方移住関連も既にピークアウトしているかもしれないが、イーストを活用しリモートワークで働く人達を可能な限り呼び込んでおかなければと思う。
・過疎化対策についての記載があったが、誰がどのように話し合って決めていくのか気になった。町民全体の意思はあるのか。他県、他地域での成功事例などがあればそれを参考に一覧とし町民がどの方法であれば自分たちの過疎問題を解決できるか考え、過去の成功事例も自分たちの地域なりにアップデートしていく意識を持てるような機会を設ける必要があると思う。学校ではそのような授業はあるが、実際に地域を担う現役世代（働きに出ている）がその意識と機会を持つ事が最重要。
・ヤングケアラーだけが取り上げられるのは違うと思っていて、現役世代でも介護の為に職を離れなければいけない人たちもいる。全てではないですがどちらにも共通する要因が多々あり結局やらなければいけない事は決まっていると思うのですが。（介護の受け皿だったり所得の問題だったり。）
・三水庁舎を残すよりイースト・ウエストに出張所（無人でＯＫ）がありマイナンバーを利用して必要な公的書類等を出力できる仕組みを整えて欲しい。当方の地域から新庁舎まで距離が遠すぎて時間のロスが大きいので。
・町の農業の今後としては、日本一のりんごの町を目指すのと同時に様々な農産物に対して国からの補助が利用できるようにしてほしい。現在りんごよりぶどうの単収が高いと聞いている。りんごの町を目指すが為に、農業で大事な収益を生むことができる産業にも力を入れないのは本末転倒。既にバブル感は否めないかもしれないが、遊休農地の活用を検討する上で産地パワーアップ等の国の補助の対象作物を増やすべきだと考えます。多くの事業者や個人が遊休地を利用する可能性が増えると思う。

■議会だよりを通じて欲しい情報は

・表紙の下部に人口や男女比率が書いてありましたが、たまには年代別の比率を知りたいと思いました。もしどこかに既出であればすいません。
・コロナ禍であるからこそ、楽しい話題を！
・コロナ関連情報 ・上下水、森林、道路の情報
・議会活動の中で発見した町内の魅力や課題など、各議員さん独自の視点で、毎回、お一人に１つずつ議員全員に、小さなコラム記事でも良いので、ご紹介いただくのはどうでしょう。写真１枚とそこへのコメントでも良いです。議員さんの日常活動やそのお人柄、町内の他地域の様子などもわかり、「議会だより」がよりいっそう、住民に近い存在になる気がします。
・「あの時のある質問どうなった？？」では「対応」について結果だけではなく、以前こうだったのがこう改善したとの報告にして欲しいと思います。
・多岐にわたって議員の方々の議論、頼もしく思います。議会だよりの内容に満足しています。
・コロナ禍で様々な業種に影響が出ている今の世の中で、町の取り組みをとにかくどんどんアピールしていただきたい。色々な事を我慢するのが当たり前の世の中になりつつある今、明るい未来に期待できる情報は活力になります。議員さん方が細かなところまで町のことを考えて議会に臨んで下さっていることに感謝です。
・「住民の要望が→議会を通じてどんなふうに可視化され→だれがどう動いて→実現した」みたいなケーススタディがあると、住民参加に積極的になれるのでは。
・新しい直売所などの利用状況。 ・信大とのコラボ事業　果皮蜜を利用した加工品開発の進み具合など。
・マイナンバーカード１枚で何でも対応することができるようになるのはいつ頃なのかという事が知りたいです。
・引き続き、コロナ関連の情報をお願いしたいです。町の方針、対策、ワクチン接種の状況もお願いします。
・飯綱町の農業従事者数が 1430 人とありましたが、町内には至る所に農地があるのに担い手が意外に少なく驚きました。「日本一のりんごの町づくり」のためにも魅力ある農業になるようお願いいたします。
・新型コロナウイルスの蔓延拡大が全国的に収まらない中で、飯綱町のワクチン接種率はどのくらいか。近隣市町村はどうなのか。低所得者対策はどうなのか。事業者支援は？議会の視点でコロナ対策を検証してほしい。
・町では公園化構想があり４か所に公園を作る計画があるような話があるらしい。具体的な計画とかはありますか？
・従来から非常に困難とする意見の集約をして、改めて打開策の提案を募った記事を情報として掲載してはどうかと思う。
・引き続きコロナ対策についての情報。 ・公園整備、図書館の充実についての進捗情報は、魅力的な町づくりで大変興味があります。
・P19 のマイナンバーカード取得方法は、わかり易かったです。
・町のコロナ対策に関する事や、子育て支援の取り組みについて
・人口減少に対する政策について ・子育て世代支援施設の施設内の紹介をとりあげてもらいたいです。
・コロナに対する現況や対策や業績をお願いします。
・質問を良くする議員とほとんどしない議員がいます。やはり、年に何回質問に立ったか、一

覧表を作って提示してほしいと思います。質問しない議員さんは仕事をしていないのと同じではないかと思います。
・飯綱町に現在、太陽光発電設備ソーラーパネル等設置工事申請が何件あるのか教えてほしい。 ・東高原ゴルフ場関連をおしえて。
・子育て支援センター事業、ワークセンター事業等の活動、様子など写真で紹介して欲しい。
・ワクチン接種が飯綱町でも進んできてはいますが、その進捗状況を世代別や他の自治体と比較した一覧表で記載してもらいたいです。飯綱町は接種ペースが速いのか遅いのか。その理由は何なのか。他の自治体の状況も載せることでより意識が高まるように思います。
・一般質問の中に図書館について書かれていたが、現在町内に３か所あるという事も私自身知らなかった。子育てをする中で気軽に本を借りられるような図書館があればいいなと思うので、施設の充実をはかってほしい。現状そのようなシステムがあるのであれば子育て支援センター等でアナウンスするなど周知をしてほしい。
・現在町が取り組もうとしていること、進行中の取り組み、同じことでもいいので何度でも載せて欲しい。 ・転入者、移住者が毎年いるはずですがその方々がどんな人達でどんな目的？で飯綱町に移り住もうと思ったのかの特集を毎号載せてはどうか？どの地域にどんな人が来たのか顔がわかったりでもするとその人に声をかけやすい？と思う。

■議会に対する要望、意見等

・国からの補助金を申請し忘れて新聞に載ったことがありましたが、普通の社会でしたら損害を出したならその会社が補填するのが当たり前だと思います。失敗した人たちを責めるのではなくて、貰えるべき補助金を役場職員の方たちはどうやって捻出するのか議会で議員の誰かが聞いたのかと思えば誰も言わないのは不思議です。世間のお茶飲み話としてもこの話題が出ていますが、一般人との感覚差と言うことでしょうか。
・コロナ感染症対応にかかる予算は、けっして高いとは思わない。町民の皆さんを守るため、安心して生活ができるまで、知恵を出して頑張ってもらいたい。 ・過疎化について若者は、人の多い町（市）へ出たがる。やっぱり、さびしさを持っているのかな（孤独感）。利便性もあると思うが。楽しさも求めている（見て。物を買って。食べて。）。
・実際に傍聴したことがないので、どれだけの熱量の議論をされているのだろうと思いますが、非常に様々な視点から町内のことを考えて下さっているのだなと感じます。ただ、正直に言いますと、「男女共同参画」「日本一女性が住みたくなる町」「女性活躍の場を」には少し首をかしげてしまいます。私は、女性はそんなに男性に対して一歩遅れをとっているとは思ってないので、あえて「女性が…」という意見には賛同しかねます。女性にしかできないもの、男性にしかできないものもありますが、全ての人がそれぞれに才能を発揮していればそれでいいと思ってしまいます。 ・ヤングケアラー問題は個人的に気にしている情報です。私自身も幼い頃に母を亡くし、父が仕事で不在のことも多かったので、弟の面倒をみてきた経験がありますが、昔は当たり前だと思っていましたが、周囲の環境、社会の変化により、今のヤングケアラーはもっと大変な思いをしているはずです。どうか支援が全てのヤングケアラーに行き届くことを願います。
・今ある施設、サービスの充実。 ・役場合併後のサービス低下の予防策の（特に高齢者への）周知。
・新型コロナウイルス感染予防、特にデルタ株の注意喚起の議論をもっと深めて欲しいです。今、何が必要で、何が求められているか、アフターコロナの飯綱町に住むことへの夢のあるビジョンについて、様々なデータと現実と明日への幸せの議論をもっと深めてほしいと願っています。21 世紀の最大の関門の一つであると思っています。原田議員の「ヤングケアラー」のご質問、まさにこれからの大きな課題です。私の意見を述べさせていただきます。今年５月 17 日家族の介護や世話を担う子ども「ヤングケアラー」の支援策を検討してきた厚生労働、文部科学両省の共同プロジェクトチームがまとめた報告書が公表されました。政府の公表した中高生への実態調査では、世話をする対象の家族は「きょうだい」が最も多く、親に代わってきょうだいの世話や家事を担う子どもの負担が明らかになったものの、介護保険や障がい福祉など既存の公的サービスだけでは負担軽減につながりにくいため、家庭の所得や環境を踏まえ、家事支援サービスを提供する制度の創設が急務という見解を出しました。同時に、子ども自らがＳＯＳを出す困難さも明らかになったが、子どもにとって、役所などの公的機関や専門家への相談は心理的ハードルが高い。このためＳＮＳ（ネット交流サービス）を利用した相談や、オンラインでの当事者の集いなどの推進。こうした活動を行う民間の支援団体と自治体の連携に補助金を出すことを想定しており、民間の力も活用して相談体制の充実を図ることを提唱しています。「家族の世話は当然」と考え、負担の重さを自覚していない子どもも多いそうだ。ヤングケアラーの早期発見に向けて、ケアマネジャーや相談支援専門員、医療ソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカーといった各分野の専門職への研修など、人材養成の強化も求められています。まずは、飯綱町独自の実態調査を推進し、介護、福祉、医療、教育など各分野の専門職に研修を実施し、他機関連携の情報共有のノウハウを盛り込んだ支援マニュアルを早急

に策定してほしいと願っています。是非、議会でも継続的に議論して安心して住める飯綱町の姿を実現してほしいと思います。よろしくお願いします。
・山林や耕作放棄地への太陽光発電施設の建設を規制する条例の制定をお願いします。 　太陽光発電システムは、本来、ビルの屋上等開発し尽くされた場所へ追加する施設であるべきです。手軽で安価だからと、山林や耕作放棄地に設置して良いとは思えません。特に、傾斜地の上部や山地林野などへの設置計画は、防災・水質や動植物への影響回避・景観維持などのために、厳しくチェックされてしかるべきものと思います。
・「町長の給料を３か月減額」議案では「議会だより」を読ませていただいた限りでは、あっさり可決となっていますが、議会として何故そうなったかを議論したのでしょうか？ 　私の見落としかもしれませんが、この件の町長から町民へのお詫びの記事も無かったと思います。 　ＡＩやタブレット端末等も良いですが、まずこの様な事が起こる事の無い様に議会としてチェックをして、組織を構築していく事がさまざまな政策を実行していくための基本の第一歩だと考えます。 ・役場と病院における病休者の現状については気になりました。
・町づくりにお願いします。東部組の消防ポンプ小屋シャッターに錆が出てきてますので塗装新しく改築して欲しいです。希望します宜しくお願いします。 ・深沢地域、飯綱中学校道中が夜間通学はまだ暗いので、ＬＥＤランプ数、多く蛍光灯を設置して、生徒が明るく通学できるようにして欲しいです。 ・以前からお願いしている、地域での火災時、個人宅名前放送しないのは、個人情報を守るためだと思いますが、今、隣同士付き合い少ない時代のため、隣の家の火災を知らなかった人もいることがありました。１秒を争う時、死の危険あり、老人一人住まいが多い時代です。町の議会で検討して頂きたいです。翌日には、テレビ、新聞等で報告されています。（他の地域では、個人宅、中野市、飯山市では放送しています）
・都会にいるときは、議会は遠くて無縁のものでしたが、こちらに来て案外身近だとびっくりしました。議員さんについても「となりにいる人」的で身近に感じられています。傍聴に行くことはなかなか出来ませんので、議員さんが町の人とのコネクターになって、意見を吸い上げて議会に反映させる。議会に自分たちの意見を反映させる役割を（今も十分活動されていると思いますが）期待しています。情報はネット等を通じて何でも入手できますが、表層的でもあるので、背景となる国の政策の動きや他市町村の事例などをかみくだいて教えて頂き、町民が課題と思っていることが議会で活発に議論されるふうになっていけばいいなと思います。
・町内にリハビリステーション設置 　歩く事を拒否する終末医療体制に人間的リハビリを希望。歩行訓練など。度重なる骨折を防ぐ為、寝たきり医療にしてしまう、全ての医療施設に自分の将来に不安不満を覚える。人間本来の歩く作業、希望を医療体制の基に、歩く様になれば再度骨折します、お年ですからとの医療体制は患者側、歩行希望者はとてもつらい選択である。
・町は課題山積。税金を使い行政で取り組んでいくのはもちろんですが、もっと、住民参加、住民企画を募ってはいかがでしょう。今でも呼び掛けてくださってはいますが、もっと！参加しやすい工夫が必要かと考えます。参考となる自治体はあると思います。ぜひ議員さんで研究して頂き、町を動かして頂けたら嬉しいです。ポイント制もその一つかと思います。…的外れでしたら申し訳ないです。今、近隣の市町村から注目されていると思います。今までと違う「何か」「動き」が必要と感じてます。
・私は自宅で仕事をしているため、議会だよりも広報誌もその日一日では読み終える事は出来

ず、毎日少しずつ時間をかけて拝読しております。毎日読み進めていますと、議員の方々、役所の方々、飯綱町の発展に力を入れて下さっている関係者の方々、ほとんどこの方たちの力が大きく影響し、飯綱町は快適い近い環境で循環しているのではないでしょうか。私たちがまるで気付きもしない事だったり、えっ！こんなところにも力を注いでいたのか！など、皆さまの力は非常に大きいと思います。けれど少々たくさんの課題を掲げすぎな点も感じています。コンピューターや最新のシステムを飯綱町も遅れてはならない。町民や他県との比較など、全てに着目する必要はないのでは？飯綱町にはこの町の造りや歴史に個性があるのではと常に考えています。ひとつの大きな問題に皆で（町中が）考えていくような町になったら無関心の人も少なくなると思います。この様な薄い冊紙に情報が詰まり過ぎているように思えます。又、違った意味での飯綱町の発展を望んでいる方も多くいらっしゃると思いました。いずれにせよ、この様な仕事を日々進めて下さっている方々には尊敬にも似た感謝にも似た敬意を送りたいです。ありがとうございます。
・支援施設の公園が新しくなり、子供が喜んで遊んでいました。もう少し公園の数が増えると嬉しいです。
・４年間お疲れさまでした。
・飯綱町子育て世代支援施設がオープンし、町外者の利用も可能とありました。どんな利用ができるのかまだわかりませんが、コロナの中出かけられずに平日一人で乳幼児をかかえ育てているママには、相談ができたり交流ができたりと嬉しいと思います。出生人口が増えるよう妊娠・出産・育児まですべてサポートできる体制・補助をお願いいたします。
・コロナ対策、少子化対策を引き続き町と協力して考えていって欲しいです。 ・児童の運動部に対して予算増を検討していただけませんか。備品等値段が高くなっています。指導者も休日よくみてもらっており、大変かと思います。
・本が好きで、町民会館の図書室はよく利用します。最初の印象は、児童書、絵本の多さに驚いたことです。それに比べて、大人向け（？）の小説や地元（長野県）に関する本がもっとほしいかなあということです。残念なのは、新着本がなかなか借りられないことです。町内では、あと中学校の図書館が一般の人にも開放してますけれど、時間が限られています。“いつ行っても利用できる”という施設がほしいと思っています。
・職員の懲戒処分とありますが、詳しい説明が欲しいです。 ・６月の定例会終わりコロナ関係予算が大半を占め、コロナの猛威を感じるところであります。日本一のりんごを目指すとありましたが、日本一のりんご産地になるためには何が必要なのか？私なりに思うことは、生産者がこんなに儲かって高級車でも買おうか... と思う位になれば、世代交代になっていき、いつまでも引き継がれていくのではないでしょうか？ＪＡ松本ハイランド下原スイカを作られている方はほとんどが若い世代に引き継がれています。ようするに、若い人達が目の色変えてりんご農家になるんだと胸を張っている事が日本一という事ではないかと思います。
・コロナの収束も先が見えず、又、最近の大雨などこれから台風の季節になり、心配なことが沢山ある中、高齢者や障害者など、又、一人暮らしの方も不安に思う事があると思います。魅力的な町づくりの中に、是非弱い立場の視点も忘れずに考えていただけると、皆が住み易い町になると思います。
・住みやすい町として県内外に発信し、人口の増加を図るためのプロジェクトの強化が必要ではないかと考える。
・デジタル化の推進ももっと加速させてもよいのではないか。現在マイナンバーカードの申請状況を知りたい。残念ではあるが自分はまだ申請しておりません。

・最近新聞で報道されたコロナ感染症対策の国からの支援金を放棄した飯綱町。報道によると1200 万円余りとの事。大変な金額である。この責任は重大である。これに携わった職員と町長の減給で納まった様だが、この様な重大事項をなぜ議会で議論されないのか不思議である。議員は職員を指導監督する立場にあるはず。危機感のない職員達をこのままで良いのか？将来が不安になる。綱紀粛正を。
・議会しっかりして下さい。議会としての立場がなってない。 ６月２日朝刊に載った役場職員の不祥事。私達町民にとって信頼を失わせた出来事でした。国補助金 1,287 万円の手続きをせず、結果、町長、課長２人、係長２人、女性主幹１人、主事 32 歳、給料の減給　町長 30%３か月、あとの人は 10%１か月ですか？主事 32 歳の男性は戒告のみ。一般企業でしたらクビ。甘すぎるこんなの甘い。理解不足でと書いてあったが、本当は忘れたのでしょう。私達町民はまだ理解できずに怒ってる人が大勢いることを知ってほしい。新聞に出た日、役場に多くの人達と押しかけようとも思った。全額払え！全額払え！町民に払わせるな！と。ですが、町長はともかく、課長はこの先、町長になっても、なってもらいたい人、ふさわしい人、おかしくない人だったため、怒りを鎮めた。ショック大でした。1,287 万円は町が負担するとなれば、税金ですか、ありえない。この事を皆んな怒ってる、今も。ある議員は、コロナ対策関連での申請書類、手続きが沢山あり、しかたないって言ってた。32 歳の男の人に対しても、まだ役場にきて１年しかたってないから、これもしかたないと言った。甘い！甘い！甘い！信じられない。こんな事言ってるから、職員が育たないのではないでしょうか。議長、議員が職員に甘くみられてることを知ってもらい、この不祥事は、失敗した職員だけではなく、役場職員、議会での連帯責任である。 ・町の中を１周してみて下さい。何かしら気付く事があり、町民の声を聞く事も大切な事だと思います。町の事を知ること。町民の仲間になり、力を貸して下さい。町民の声が行政に届くように！！お願いします。 ・三水庁舎を残すことなんてやめて下さい。これ以上、ムダに税金を使わないで。ありえない事。役場は１つでいい。役場職員も減らせるものなら減らして使える職員のみにしてもらいたい。
・道路沿いの景観整備をもっと行政に訴えてほしい。木がおおいかぶさっていたり側溝が落ち葉などでつまっている所が多々あります。住み良い町づくりのためにお願いします。
・子育てを始める身として、現在の飯綱町の支援はとてもありがたいです。ありがとうございます。
・コロナ禍においてどさくさに紛れて進めてしまう事のないよう町政を見張っていて下さい。
・基幹的農業従事者数の調査結果をみて、今後を支えるべく若い人の割合が少ないことに驚いている。時間的にこの問題を早く取り上げないと手遅れになる。委員会等を設置し、どうすれば飯綱町の農業を支えてくれる人を増加させられるか、検討し報告し実行していただきたい。
・町民の声をていねいに拾いあつめて、議会質問で町政を動かす気概をもって、議員としてのお仕事をされる事を望みます。
・町長の給料減額、職員の懲戒処分について 　どんな理由でなったかが不明。結果だけでは解らない。この件について、しっかりとした状況の報告が必要ではないでしょうか。新聞で取り上げられ薄々は察することができるが、何もふれていない。町民に知らせるべきなのでは？ ・図書館の整備、充実について 　渡邉、中島議員の意見に賛同します。一日も早く、実現できるよう希望致します。 ・飯綱病院の健診結果について

病院には婦人科がなく、検診するものの異常が見つかった場合、文章で再検査の依頼と診断書の提出を求められたが、町内に医院がないので非常に困った（知人の話）。この場合、面談をして病院の紹介のフォローをして、不安なく再検査ができるよう配慮してほしいと思った。検討していただきたい。
・引き続き、町民が安心して暮らしていける様、コロナ対策、経済面、食生活等、多岐にわたり取り組んで欲しい。
・公用車、社会福祉協議会等、飯綱町でも白ナンバー車を数十台保有していると思うが、台数により、人を送迎するなら旅客運行管理者、貨物なら貨物運行管理者を数人おかなければならないが、飯綱町は運行前、運行後の点呼、運行管理をどの様にしているか、教えて欲しい。
・議会に対してする要望では無いかもしれませんが、お弁当の配達地域外の当地域ですが町で取り纏めたらお弁当が届くようになりませんでしょうか？

■今、お気づきのことはありますか？

・三水地区の過疎化はもっと前からかと思っていたのですが、住むには悪くない町だと思うので、移住者を増やすしかないのかなと思いました。
・町道沿いの雑草の繁茂が気になります。気づいた方々が自主的に草刈りされている場所もありますが、町道の管理作業の一環として実施できないものでしょうか。道沿いに草が路上にはみ出していると、交通事故も心配ですが、景観も良くありません。
・９ページ４段目の渡邉議員の質問内容で「住民との共動により」と記述されていますが、共動という使い方はあるのでしょうか。飯綱町として「きょうどう」は、どのような標記を採用しているのでしょうか、ご教示ください。
・コロナのワクチン接種も進み、感染拡大ストップに一歩前進と期待をしています。 ・飯綱町、とくに三水地区の人口が思った以上に減少していて驚いています。そういう我が家の子供達も関東におりますが、いずれは地元に戻りたいとも話しています。今の仕事では長野に該当する企業が少ないこともあります。それでも自分のやりたい事に向かう姿は応援したいので、人口減少を考えると少し複雑な思いです。
・結局、オーガニック給食はどんなプロセスで実現していくのでしょうか？議会後、どうなったのかを知るツールが無いなあと思いました。「その後 watching」が必要かも。
・先日「ワクチン打ったからもうマスクしなくていいなっ」と高齢の方が話されていたのを耳にしました。ワクチンを打てばコロナにならないと勘違いしている人も少なくないのかな…と不安になりました。
・依頼状に締め切り期日とか希望納期の記載があれば、遅れないように努力したいと思います。
・コロナ、１日でも早く終息するといいですね！願っています。
・長野市等は若い世代にもワクチン接種が進んでいます。飯綱町はいつになるのでしょうか。
・通勤時に子供たちが歩いている通学路の雑草や木が伸びていて気になっていました。７月８月と徐々にきれいになっていき、暑い中作業してくださっている方ありがとうございます。
・毎回いくつかの構成ミスがあります。内容が良くてもちょっと残念に思いますので、最終的委員長さんがしっかりチェックしていただけると良い議会報になると思いますが。
・瀧野議員の質問で「人事異動の引継不足によるクレーム」。職場での人事異動は組織の能力アップ個人の能力アップ等当然必要となるものである。大企業等では人事異動で組織のレベルがダウンすることはあまり無いと思うが、飯綱町役場では一つの職場を考えた場合小人員が多いと思う。ベテランな人が抜けた場合当然レベルダウンが発生してしまう。長期的な人員配置計画と日頃の教育の実施が必要ではなかろうか。（個人の資質もあるだろうが確かにクレームは色々ある）
・ここ数年、大雨による被害のニュースをテレビでよく見るが、他人事ではないと思います。昨年の千曲川堤防決壊、災害の怖さを感じました。飯綱町では、あの様な大水害は無いと思いますが、一時的な大雨でＵ字溝があふれて道路に流れ出たり、Ｕ字溝すらない道路は川になり土手に流れ落ちている。下には県道があったり民家もある。土砂災害の起きないうちに建設課は予算より安全安心の町にしてもらいたい。
・メーラプラザに自動販売機があると便利だと思います。つまらないことで申し訳ありません。
・オンライン学習のためのルーターを貸出し予算化。とありますが、勉強する為のパソコンの無いお宅もあるのではないかと思いました。
・新庁舎になってから来庁して感じたが、以前と比べると各課内への見通しが悪くなったように思える。当然のことながら職員からも来庁者が見えにくいせいか、対応が悪くなったように感じるのは私だけだろうか。

・8 月 10 日にワクチン接種を受けまして（１回目です）、ちょっとホッとしているのですけれど。会場のスタッフの方々、みんなとても丁寧に接してくれて、ただでさえ不安で暗くなりがちな雰囲気を明るく変えてくれました。ありがとうございました。2 回目は 8 月 31 日です（ドキドキ...）
・コロナ禍で議員の方々もなかなか活動しずらい状況にあるとは思いますが、議員活動の報告があるといいと思います。
・ワクチン接種の遅れ。飯綱町はどこよりも遅い。人口が少ない町なのに他の市町村よりかなり遅れていること。なぜ遅いか不思議だ。小布施町は 40 代とっくに終わり、30 代やってる、20 代も。長野市も 40 代が接種し始めたし、20 代の人達にも接種券は配られた。ワクチンに関わっている職員の方にやり方の見直しをして、若い人が早くワクチン接種できるように進めてもらいたい。心配です。ワクチンあるの？やり方の見直し！！ ・当たり前に給料もらえる公務員。毎月、決まった給料もらってる職員。コロナで働けない、働く場所がない町民がいる事を忘れないで！お金は大切だ。
・毎日雨が降り続いており、土砂災害が心配されます。我が集落でも山林をけずり、太陽光発電設備が造られました。下地は削ったままの土がみえ、ただ機械で固めた状態です。工法として本当にこんな状態でよいのでしょうか。雨水に耐えられるか心配です。工事を認めた町は工事終了時の確認をどのように行っているのでしょうか。万が一流された時の責任は町にはないのでしょうか。説明を求めます。表町の設備も歩道付近に土砂が流れているのではないですか。確認を求めます。
・男女共同参画について、古くからの考え方を変える啓発活動を大切に思う。議会だけでなく、役場も中心になって推進して欲しい。
・夏川～東高原の草刈りをやっていただいたのですが、道路にはみ出している１m位上のせり出している草を刈っていないので道幅が変わっていません。税金を使って作業していただくのですから、しっかり現場監督お願いします。
・東高原の飯綱高原ゴルフコースがいきなり閉鎖していて、少し驚きました。温泉・スキー・ゴルフがセットで楽しめる最良なリゾートであったのに....民間企業の運営となったことは理解できますし、住民がどうこう言えることではありませんが、展望など、区切りや節目では住民に向けた説明などの機会があった方が良いのではないかと思います。まだ年数も浅く、急激な方針の転換は予想外で残念です。
・コロナ禍で人と人とのつながりがどうしても少なくなっている気がします。地域の祭り、行事などができないことが、ボディブローのように地域の弱体化につながらないようにしなくてはいけないと思っています。そうした中で行われている小さな営みを大切にする視点が、今まで以上に、行政、地域運営に求められていると思います。
・今年もコロナ感染拡大の影響により秋祭りなどの行事を中止する地区が多くなっています。今までのような地域のコミュニティが失われ、近くに住んでいる方の状況もわかりづらくなってきているなかどう田舎の良さを維持していけるか。もともとみんなでワイワイから一人で楽しむという時代の変化はあるところへこのコロナ禍ですからすごく難しいですよね。維持する事が絶対ではなく、より良い形へ変化させる良いチャンスなのかもしれません。
・地域の高齢世帯が皆単身住まいとなりとても寂しそうです。（思い込みかもしれませんが。）コロナ禍という事もあり余計何もする事はできませんが、他県や他地域で目立つ取組があれば参考にし飯綱町も取り組めたらなと思います。
・日本一のりんごの町づくりを取り組む飯綱町にとって、今年の大霜の被害と秋になっての褐斑病の影響は大きい。すでに霜対策の農家応援販売プランには、早々の対策を講じていただい

てありがたい。今後の農業を考えたときに、今年のような大きな天候による被害を防ぐために何ができるのか考えていく必要な時期に来ているのではないか。化成肥料のおおきな値上がりが迫っている事もおおきな栽培経費の圧迫になりそうだ。そこで、この２つを同時に解決できそうなのが、「有機肥料」ではないでしょうか。勉強不足ではありますが、残飯や米やそばの廃棄物を使用した有機肥料づくりを目指し、SDGｓの観点も踏まえ、地球に優しい農業にいち早く取り組んではどうか。有機肥料は、２度程度の地温を上げるという研究結果もあり霜対策にならないか期待したい。化成肥料の値上がりや使用量削減の動きもあり、一石二鳥ではないでしょうか。ぜひ、町として取り組む価値があるのかどうか調査研究の時期にきていると思い、提案させていただきます。